
2023年9月期

第3四半期 決算説明資料

2023年8月10日

株式会社 学研ホールディングス

INDEX

エグゼクティブ サマリー P.03
2023年9月期 第3四半期決算概要 P.07
教育分野 第3四半期決算 P.12
医療福祉分野 第3四半期決算 P.20
決算補足資料 P.26

2023年9月期 第3四半期決算 エグゼクティブ サマリー

2023年9月期 第3四半期決算 エグゼクティブサマリー

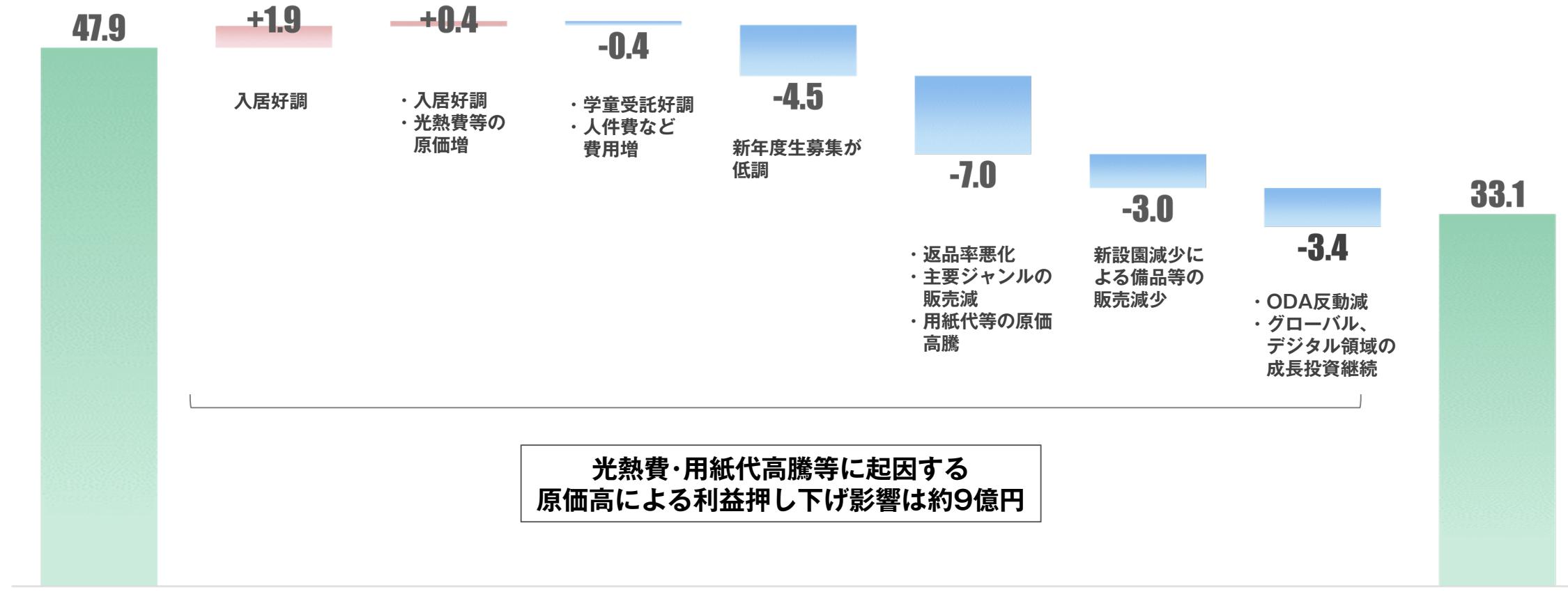
売上高	: 1,193.6億円 (前期比+2.0%)
営業利益	: 33.1億円 (前期比-30.9%)
経常利益	: 34.9億円 (前期比-30.4%)
四半期純利益	: 11.5億円 (前期比-59.5%)

- ・連結売上高：医療福祉分野の增收が牽引し、3Q累計では2.0%增收
- ・営業利益：3Q累計では30.9%の減益
出版事業と園・学校事業の事業環境悪化に加え原価高、円安等も影響
教室・塾事業の新年度募集も伸び悩む
- ・経常利益：営業利益減に伴い減益
- ・四半期純利益：営業利益減と政策保有株式の評価損（6.8億円）により減益

営業利益 増減分析

単位：億円

教育における出版販売減、返品率悪化、教室・塾における新年度生募集の低調などを主因に減益



光熱費・用紙代高騰等に起因する
原価高による利益押し下げ影響は約9億円

※単位未満は四捨五入です。

連結業績予想

教育事業の減収減益に伴う計画差が拡大傾向にあることから、以下のとおり連結業績予想を修正します 単位：億円

連結	FY2022	FY2023 通期		FY2023 1～3Q累計		
	実績	期初予想	修正予想 ※2 2023年8月	実績	対修正予想 進捗率	対前期実績 進捗率
売上高	1,560	1,620	1,600	1,193.6	74.6%	76.5%
営業利益	64.3	67.0	56.0	33.1	59.1%	51.5%
営業利益率	4.1%	4.1%	3.5%	2.8%	—	—
経常利益	69.3	70.0	61.0	34.9	57.2%	50.3%
当期純利益	34.4	36.0	33.0	11.5	34.8%	33.5%
ROE ※1	7.2%	7.2 %	—	—	—	—

※単位未満は四捨五入です。 ※1 通期指標につき四半期／半期での算出はしません。

※2 2023年7月28日に連結子会社化した(株)市進ホールディングスの影響は織り込んでおりません。

2023年9月期

第3四半期決算概要

2023年9月期 第3四半期決算 連結業績サマリー

※単位未満は四捨五入です。

売上高

1,193.6

億円

前年同期比

2.0% ↗

医療福祉分野の新規店積極開設で增收継続

EBITDA

55.1

億円

前年同期比

21.2% ↓

営業利益減に伴う減少

営業利益

33.1

億円

前年同期比

30.9% ↓

出版事業での返品率悪化・原価高に加え
教室・塾事業の新年度募集伸び悩み

経常利益

34.9

億円

前年同期比

30.4% ↓

営業利益減に伴う減益

四半期純利益*

11.5

億円

前年同期比

59.5% ↓

営業利益減と政策保有株式の評価損が主因

*親会社株主に帰属する四半期純利益

2023年9月期 第3四半期セグメント別業績サマリー

単位：億円

セグメント	FY2022 3Q実績		FY2023 3Q実績		増減（対前期）	
	事業	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高
教育分野	593.3	32.9	572.7	19.6	△ 20.6	△ 13.3
教室・塾	231.2	5.6	223.8	1.1	△ 7.4	△ 4.5
出版コンテンツ	246.4	25.0	238.0	18.0	△ 8.4	△ 7.0
園・学校	115.7	4.7	110.8	1.6	△ 4.9	△ 3.0
のれん	-	△ 2.3	-	△ 1.2	-	+1.2
医療福祉分野	534.0	22.5	577.2	24.5	+43.2	+2.0
高齢者住宅	237.2	9.4	265.3	9.8	+28.1	+0.4
認知症グループホーム	253.7	15.3	265.5	17.2	+11.8	+1.9
子育て支援	43.1	1.3	46.4	0.9	+3.4	△ 0.4
のれん	-	△ 3.5	-	△ 3.5	-	±0.0
その他	42.8	6.2	43.7	3.3	+0.9	△ 2.8
調整額	-	△ 13.7	-	△ 14.3	-	△ 0.6
グループ合計	1,170.1	47.9	1,193.6	33.1	+23.5	△ 14.8

※単位未満は四捨五入のため、合計値が合わない箇所があります。

2023年9月期 第3四半期（3か月）セグメント別業績サマリー

単位：億円

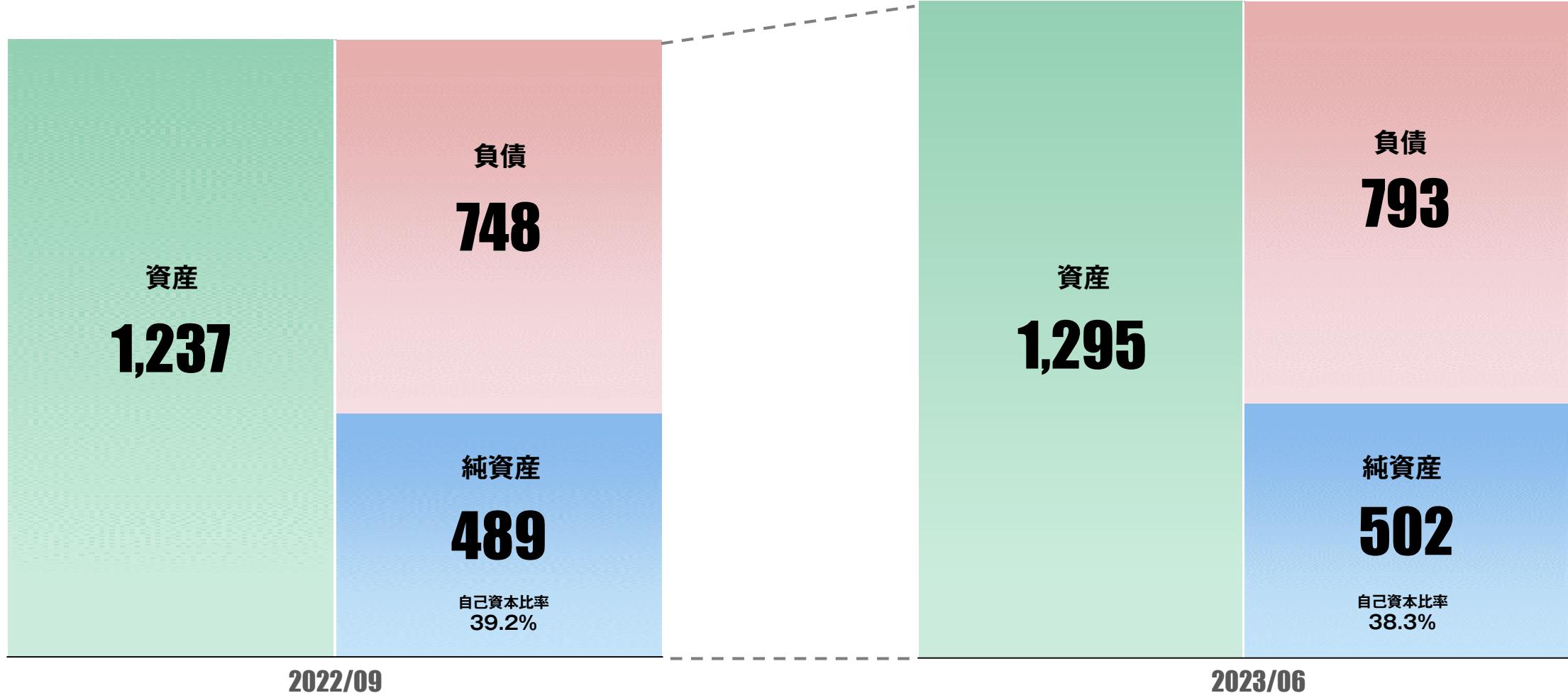
セグメント	FY2022 3Q (3か月) 実績		FY2023 3Q (3か月) 実績		増減 (対前期)	
	事業	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高
教育分野	178.9	△ 2.3	170.8	△ 6.0	△ 8.1	△ 3.7
教室・塾	72.6	△ 1.3	70.2	△ 2.8	△ 2.4	△ 1.6
	75.5	2.1	69.9	△ 0.1	△ 5.6	△ 2.2
	30.8	△ 2.4	30.7	△ 2.8	△ 0.1	△ 0.3
	-	△ 0.8	-	△ 0.3	-	+0.4
医療福祉分野	181.9	10.6	196.4	10.7	+14.5	+0.1
高齢者住宅	81.0	4.8	91.0	5.3	+10.1	+0.4
	86.0	5.7	89.6	6.3	+3.6	+0.6
	14.9	1.2	15.8	0.3	+0.8	△ 0.9
	-	△ 1.2	-	△ 1.2	-	±0.0
その他	12.9	0.8	14.7	0.4	+1.7	△ 0.4
調整額	-	△ 4.5	-	△ 4.3	-	+0.2
グループ合計	373.8	4.6	381.9	0.8	+8.1	△ 3.8

※単位未満は四捨五入のため、合計値が合わない箇所があります。

連結財政状態

単位：億円

自己資本比率は健全な水準を維持しており、今後の投資状況に特段の懸念はない



※単位未満は四捨五入です。

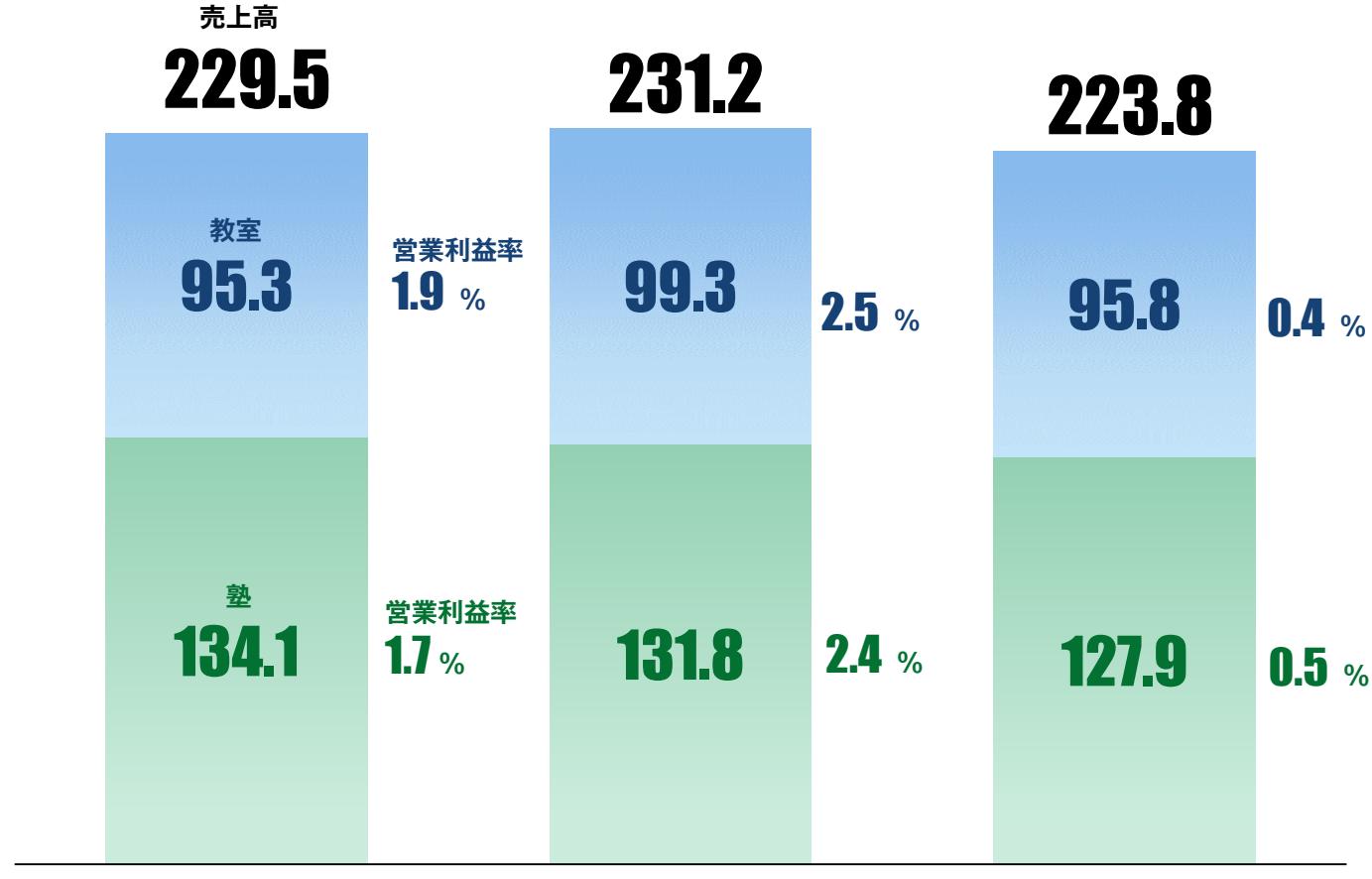
教育分野 第3四半期決算

幅広く子どもたちの学習を支援する3事業を展開。社会人向けのサービスも拡充しています。

- 1)教室・塾事業…………… 日常学習を支援する幼児教室・学研教室に加え、各地で進学塾を運営
- 2)出版コンテンツ事業… 児童書、学習参考書等の出版物や、eラーニング等を制作・販売
- 3)園・学校事業…………… 幼保園等への物販や教科書・教材の制作・販売。企業向け研修も展開

教室・塾事業 第3四半期決算サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

- ・オンライン国語指導サービス「ことばパーク」会員数増加
- ・自治体の教育課題解決支援事業が堅調に拡大
- ・バーチャル・スマート・キャンパス(ViSC)の導入順調

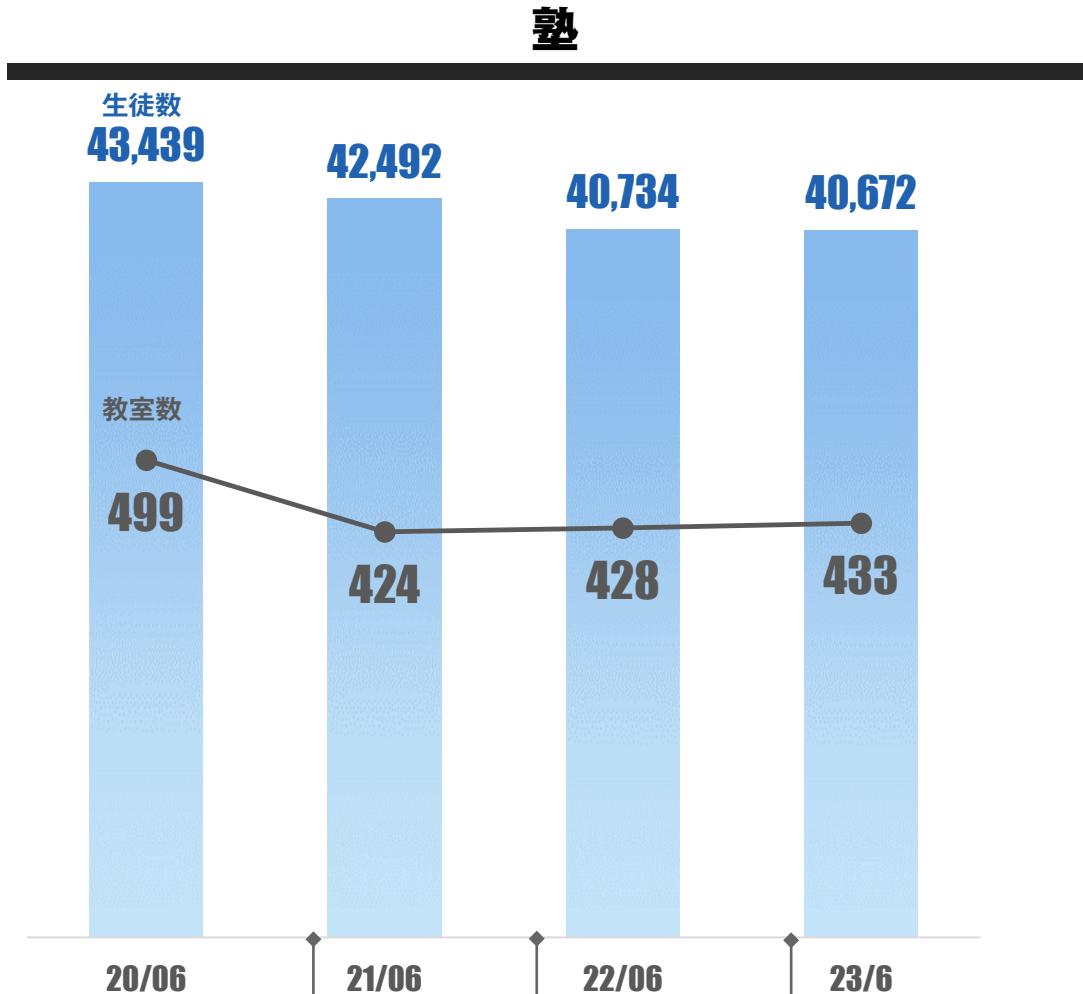
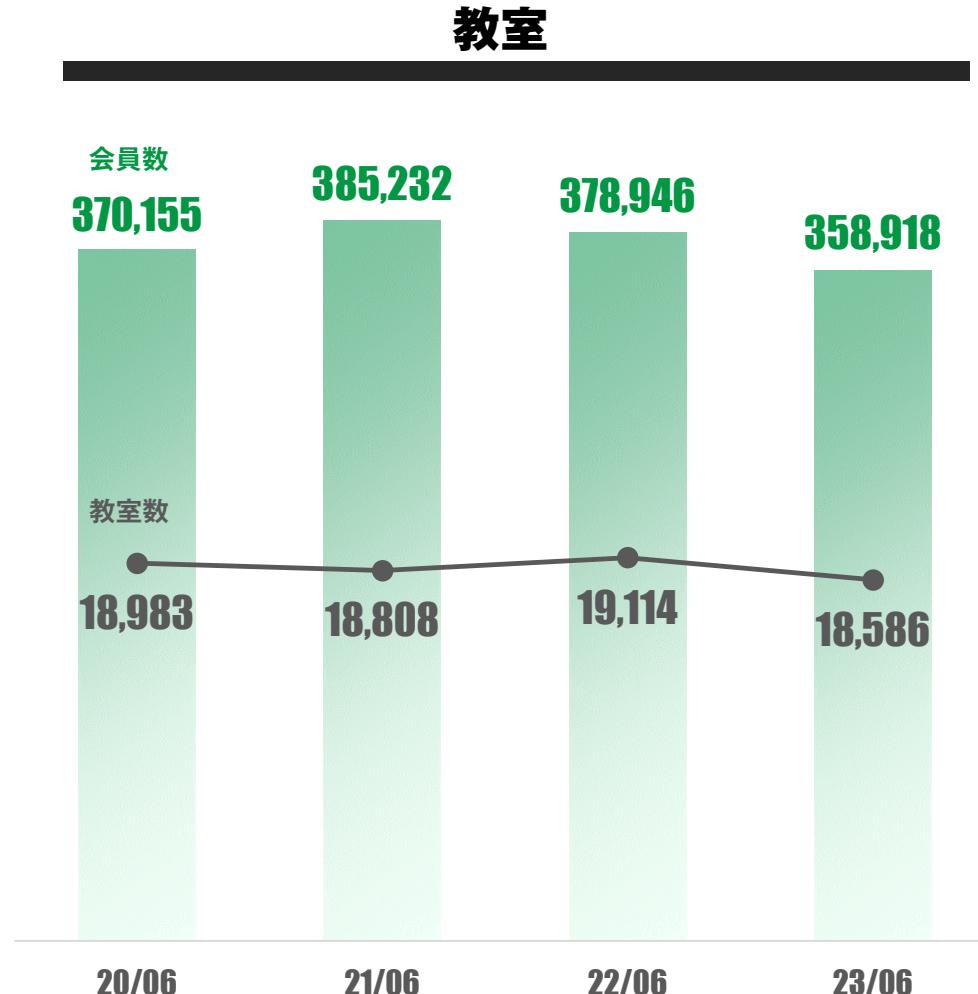
ネガティブ要素

- ・新年度生募集が軟調。前期比で教室：5.3%減 塾：0.2%減
- ・新規教室開設苦戦：前期比528教室減
- ・物価高影響で通塾開始時期に遅れ進学塾の業績に影響

※単位未満は切り捨てです。

教室・塾事業 会員数・教室数

教室・塾事業とも新年度生の獲得が低調となり、会員数・生徒数減少傾向が続く
学研教室は新規FC教室の開拓苦戦。幼児教室は開室数増加も会員数は低調



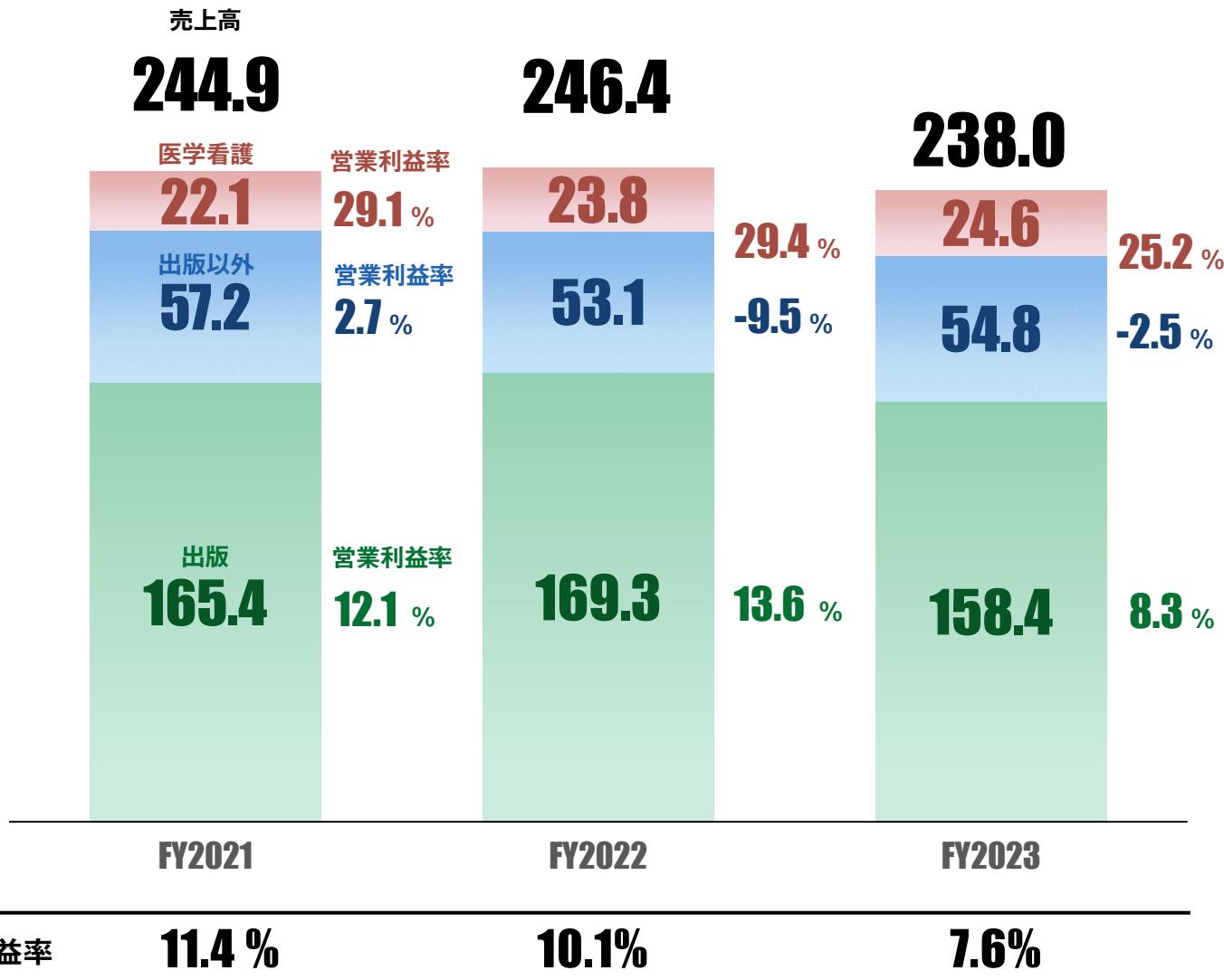
※会員数、教室数は学研教室と幼児教室の合算です。事業譲受に伴い、
2020年9月以降には小学館アカデミー、2021年7月以降にはめばえ教室の実績を含みます。

※2021年2月に学研アイズ、
同3月にSIGN-1を収斂

※2022年4月に昇英塾、2023年5月に
NEホールディングスがグループイン

出版コンテンツ事業 第3四半期決算サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

- ・(株)地球の歩き方の地図ガイド本が好調継続
- ・看護師eラーニング事業の業績順調
- ・オンライン英会話事業好調

ネガティブ要素

- ・書籍返品率は前期比で4.4%pt悪化
前期：22.1%→当期：26.5%
- ・児童書、学参など主要ジャンルの販売低調
- ・トイ市況低迷
- ・円安などによる原材料費や物流費等のコスト上昇

※単位未満は切り捨てです。

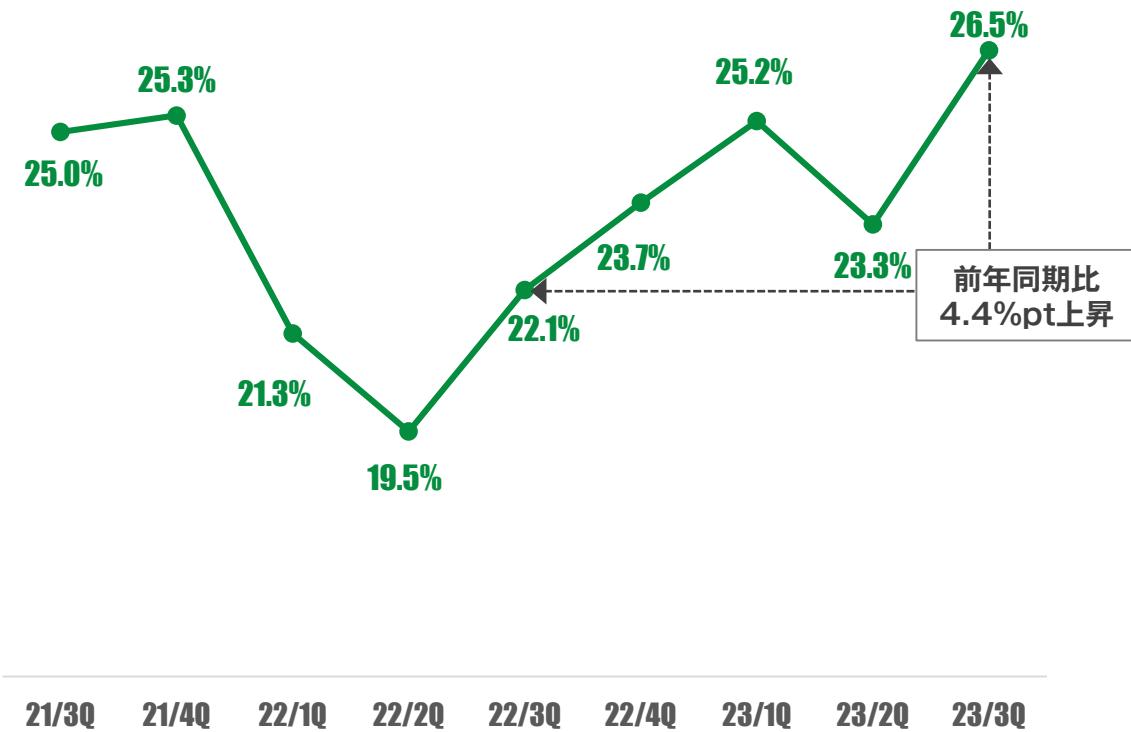
出版事業 書籍新刊点数／返品率

新刊発刊点数は「地球の歩き方」が牽引する実用書ジャンルで増加。当期の累計返品率は前年同期比で4.4%pt悪化

第3四半期累計 書籍新刊点数^{*1}

	21/06	22/06	23/06
児童書	149	138	118
学習参考書	137	147	128
実用書	117 ^{*2}	136	166
ムック	23	26	22
その他書籍	66	85	112
合計	492	532	546

書籍返品率（期中累計）

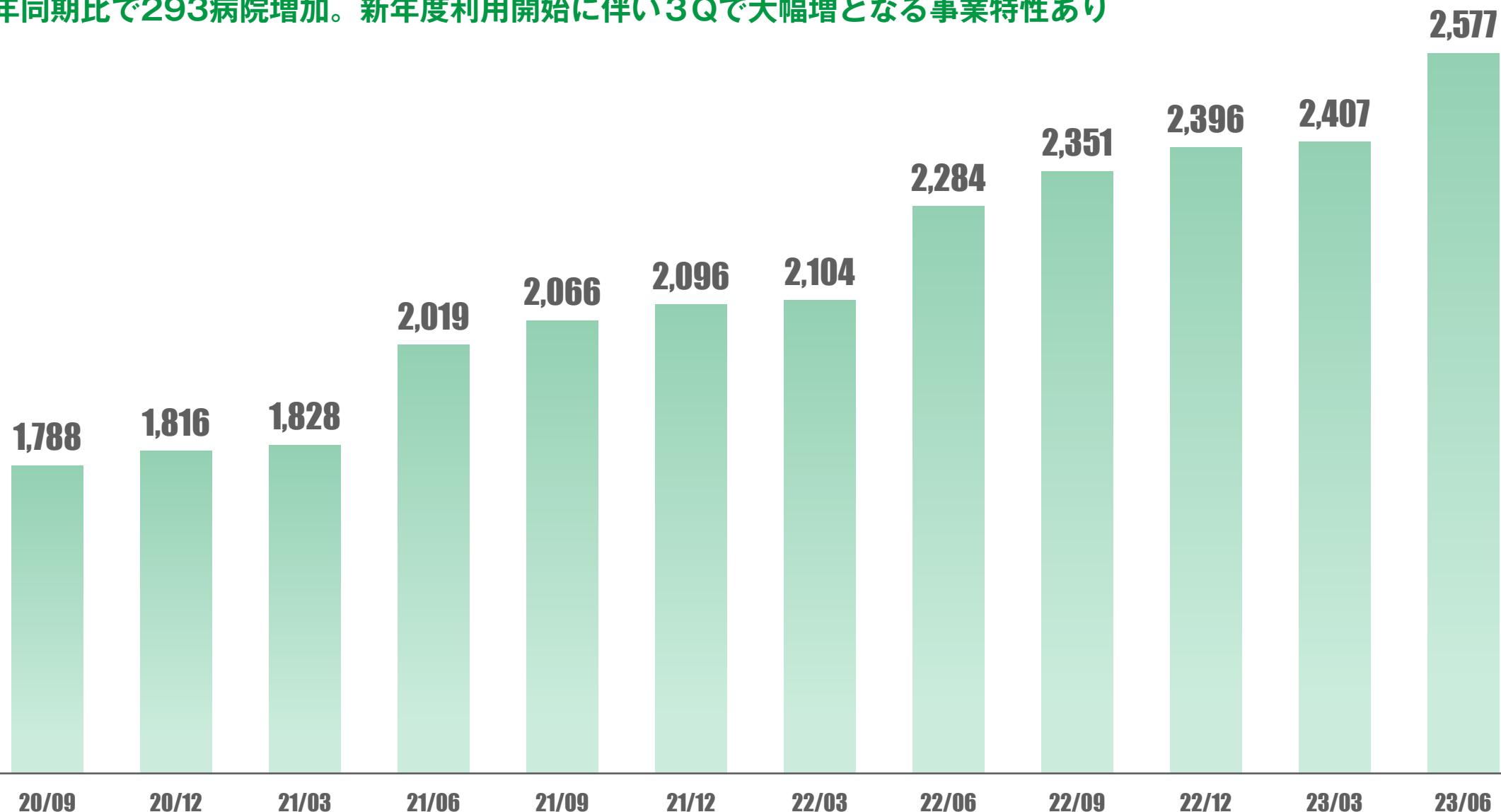


*1 書籍（雑誌は含まず）発行点数及び返品率は(株)Gakkenと(株)地球の歩き方の合算です。(株)文理の数値は含みません。

*2 (株)地球の歩き方の実用書新刊点数について：2021年グループイン当初の発行所・発売元変更に伴う新刊発刊は、同年の実用書新刊点数から差し引いています。

医学・看護事業 看護師向けeラーニング契約病院数

前年同期比で293病院増加。新年度利用開始に伴い3Qで大幅増となる事業特性あり



園・学校事業 第3四半期決算サマリー

単位：億円

売上高

130.2

社会人

7.1

営業利益率
20.9 %

学校
34.6

営業利益率
13.8 %

幼児

88.4

営業利益率
4.5 %

115.7

7.5
営業利益率
17.8 %

28.5

8.1 %

110.8

7.4
営業利益率
13.4 %

27.6

4.5 %

FY2021

FY2022

FY2023

営業利益率

7.9 %

4.0 %

1.5 %

ポジティブ要素

- ・保育ICTシステム「hugmo」ユーザー数拡大
- ・小学道徳・保健の2024年度採択シェアアップ、教科書指導書売上獲得に向け営業力強化
- ・バス置き去り防止安全支援装置販売好調

ネガティブ要素

- ・教科書採択の端境期のため教師用指導書の売上なし
- ・新設園減少に伴い、園向け大型遊具・備品受注が低調
- ・補助金減少、需要低迷による先生向けエプロンなど高利益率商品の販売不振

※単位未満は切り捨てです。

学校事業 教科書発行スケジュール

△ 検定：文部科学省の調査（教科書としての適正性）

● 採択：所管の教育委員会による教科書の決定

◎ 使用開始：各学校に供給し、児童生徒へ

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
小学 保健	●	◎		△	●	◎		△
中学 保体	△	●	◎		△	●	◎	
小学 道徳	●	◎		△	●	◎		△
中学 道徳	◎	△	●	◎	△	●	◎	

※教師用指導書の売上は「◎使用開始」年度に集中します。

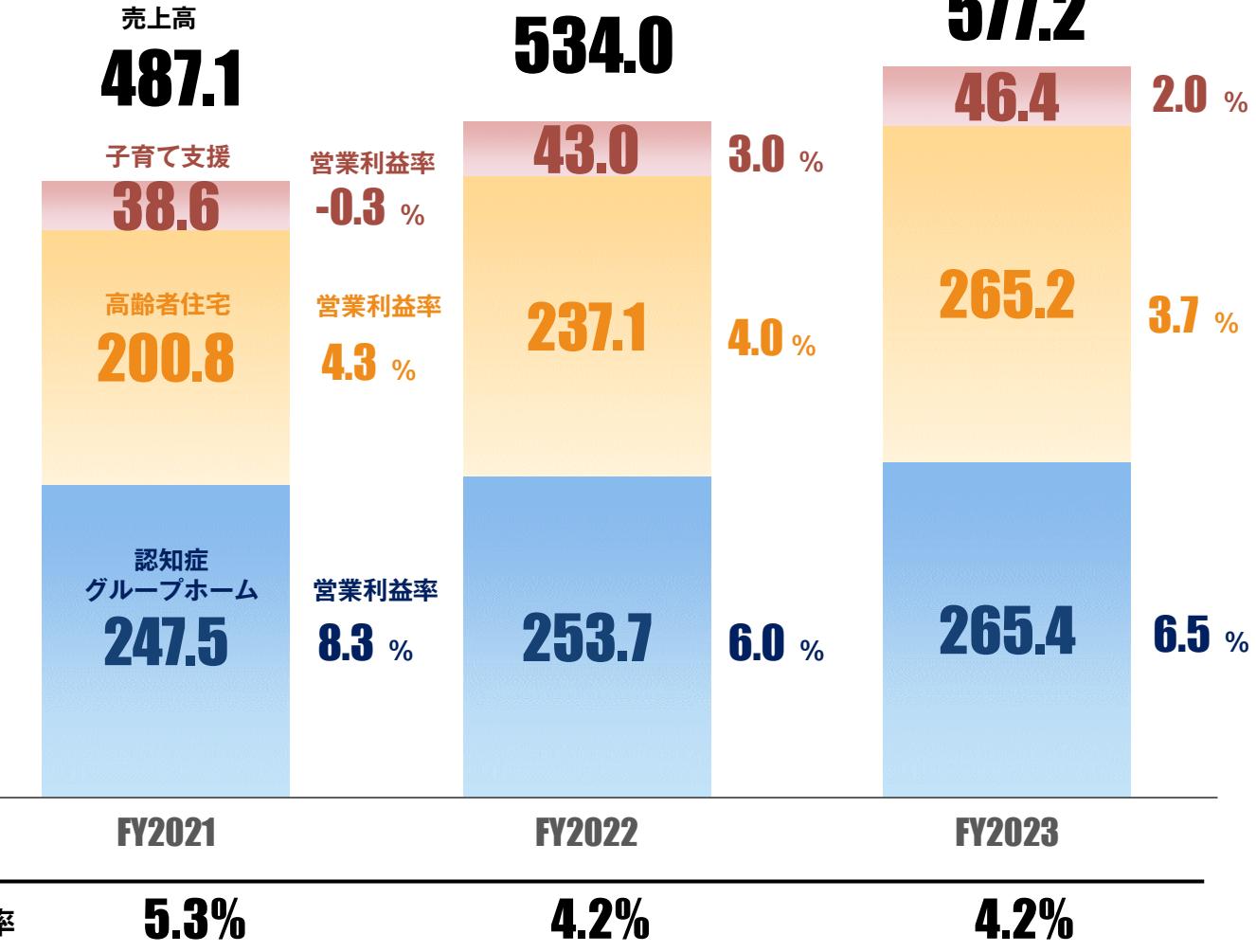
医療福祉分野 第3四半期決算

3つの事業で少子高齢化の社会課題に挑み、多世代が安心して暮らせる街づくりを進めます。

- 1)高齢者住宅事業 … サービス付き高齢者向け住宅、介護サービス拠点等の企画・開発・運営
- 2)認知症グループホーム事業 … グループホームの運営や関連サービスの企画・開発・運営
- 3)子育て支援事業 … 保育園・子ども園・学童施設・児童発達支援施設等の企画・開発・運営

医療福祉分野 第3四半期決算サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

- ・新規開設順調
→高齢者住宅（3事業所）
→認知症GH（5事業所）
→学童保育（3事業所）
- ・入居率、充足率は高水準で推移
→高齢者住宅 95.6%
→認知症GH 96.8%
→保育園 94.4%

ネガティブ要素

- ・建設費高騰に伴い新規開設の先送りなど、一部オーナーの建設判断に慎重な動き
- ・食材費等物価高騰に伴うコスト増
- ・光熱費の高騰によるコスト増（既存店比較で約6億円の影響）

※単位未満は切り捨てです。

新規開設計画と進捗

- ・高齢者人口の増加や放課後の預かりニーズ需要増に対応するため、積極的な新規開設計画ペースを維持
- ・M&Aによる事業譲受や学童などで開設数を積み増し、計画達成を目指す

単位：開発数

	FY2022	FY2023					
	通期開設実績	1Q実績	2Q実績	3Q実績	1-3Q累計	通期計画	進捗
高齢者住宅	21 事業所 (22棟)	4	2	3	9	16~22	56.3%
認知症 グループホーム	11	3 M&A:1件含	3 M&A:1件含	5 M&A:2件含	11	12~15	91.7%
子育て支援施設	3	4	0	3	7	4	175.0%
合計	35	11	5	11	27	32~41	84.4%

※国内拠点のみの数値です。

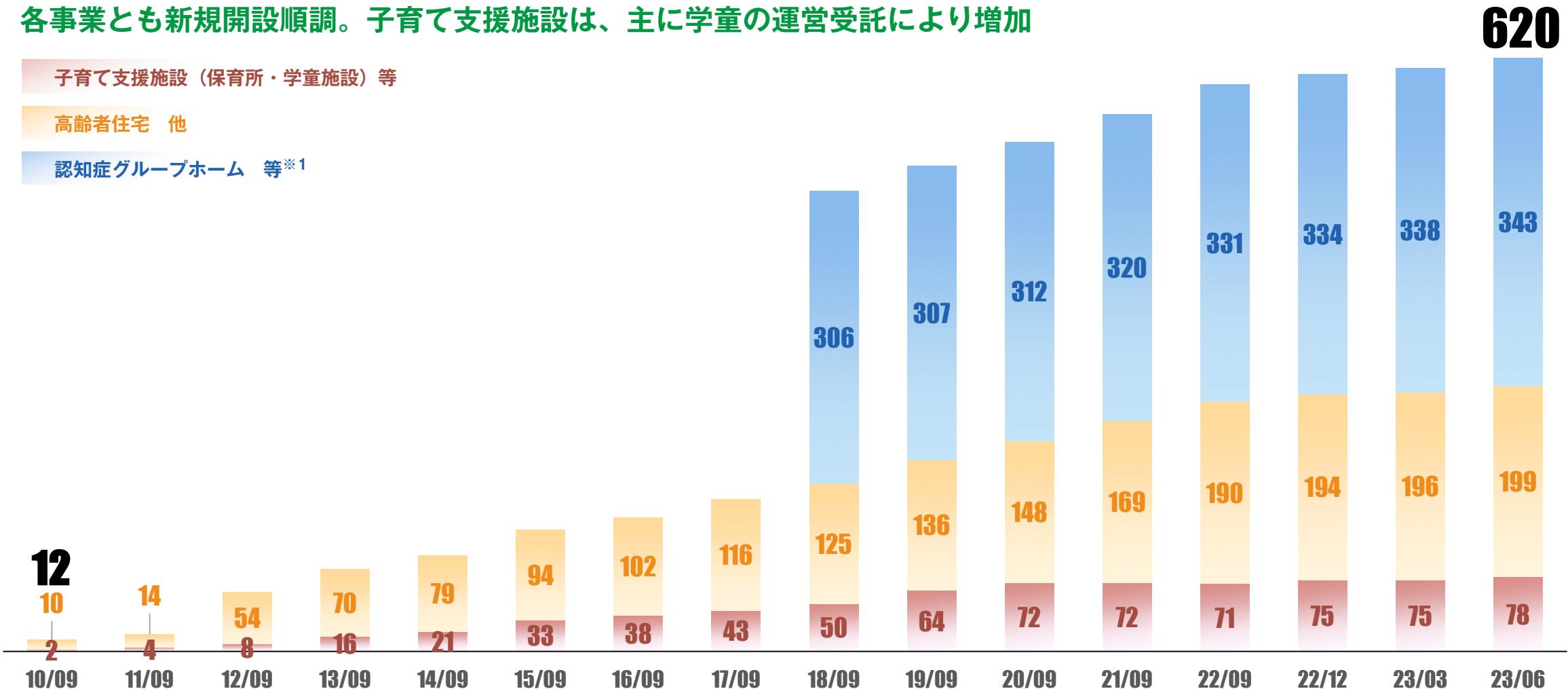
※子育て支援施設は保育園・学童施設・児童発達支援施設・子育てステーションの合算です。

※記載の数値は、同期間の閉鎖数を差し引いていません。

※従来の開示資料は海外拠点の数値を含んでいたため、認知症グループホームの2Q実績 4（海外1棟含む）を3に訂正しました。他の時点の数値に変更はありません。

拠点数

各事業とも新規開設順調。子育て支援施設は、主に学童の運営受託により増加

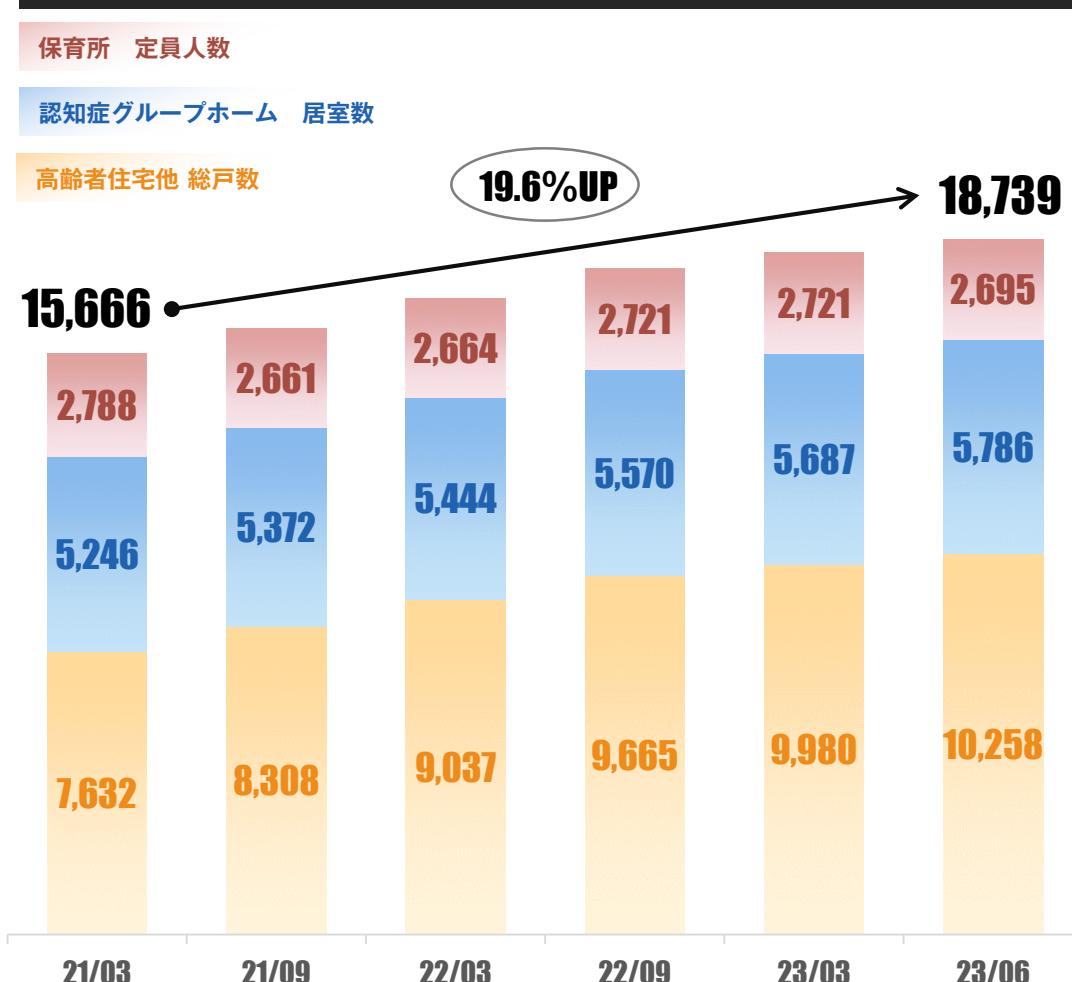


※記載の数値は新規開設数と閉鎖数の差し引きです。

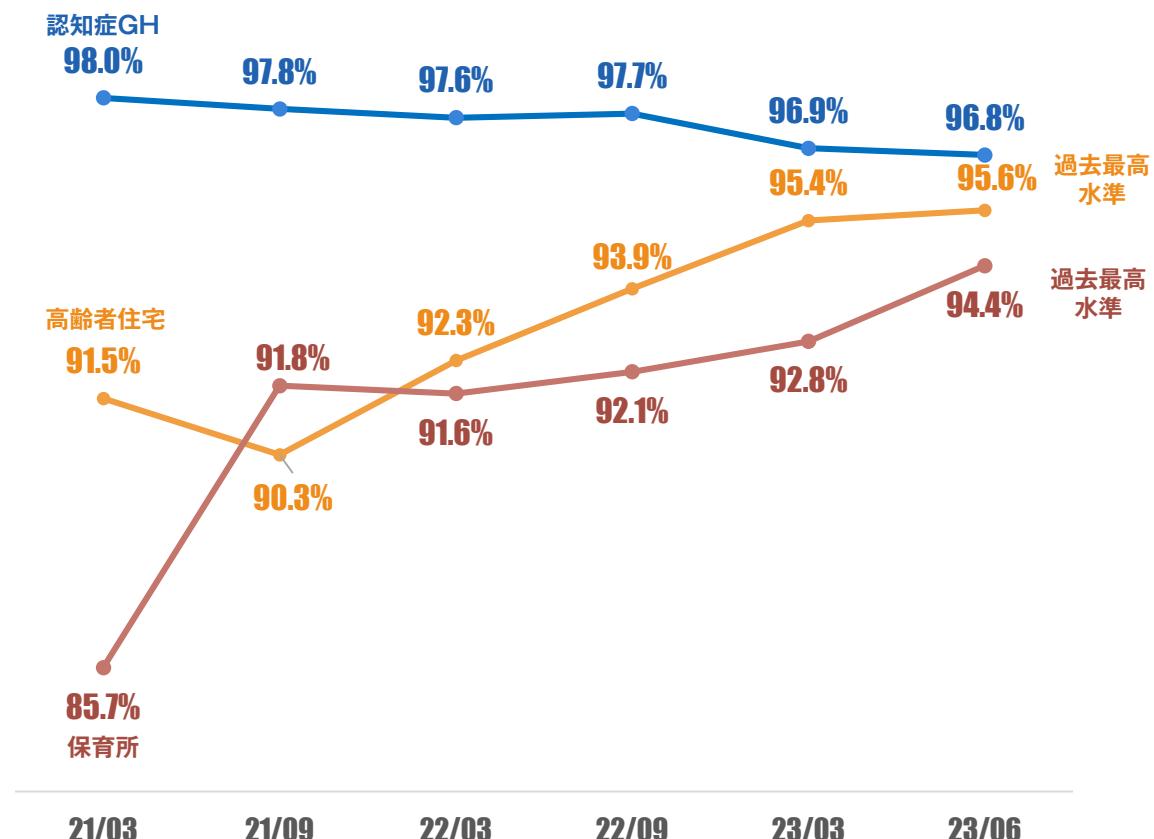
※1 海外拠点を含みます。

医療福祉分野 キャパシティ拡大と稼働状況向上

総戸数・居室数・定員数推移



入居率・充足率推移



医療福祉分野 入居率・充足率

		20/03	20/09	21/03	21/09	22/03	22/09	23/03	23/06
高齢者住宅	総戸数	6,898	7,182	7,632	8,308	9,037	9,665	9,980	10,258
	入居数	6,289	6,600	6,985	7,505	8,345	9,073	9,519	9,806
	入居率	91.2%	91.9%	91.5%	90.3%	92.3%	93.9%	95.4%	95.6%
認知症 ^{※1}	居室数 ^{※2}	5,192	5,246	5,246	5,372	5,444	5,570	5,687	5,786
	入居率	98.0%	98.0%	98.0%	97.8%	97.6%	97.7%	96.9%	96.8%
子育て支援施設	定員数 ^{※3}	2,497	2,788	2,788	2,661	2,664	2,721	2,721	2,695
	園児数	2,107	2,381	2,389	2,443	2,441	2,505	2,524	2,544
	充足率	84.4%	85.4%	85.7%	91.8%	91.6%	92.1%	92.8%	94.4%

※1 認知症グループホームの運営事業会社 メディカル・ケア・サービス(株)は2021年9月期より決算期を変更しました。
これに伴い2021年3月以前の実績は、8月を「9月」、2月を「3月」にそれぞれ読み替えております。

※2 認知症グループホームの居室数に海外および他区分施設の居室数は含まれません。

※3 子育て支援施設の定員数は保育所のみです。

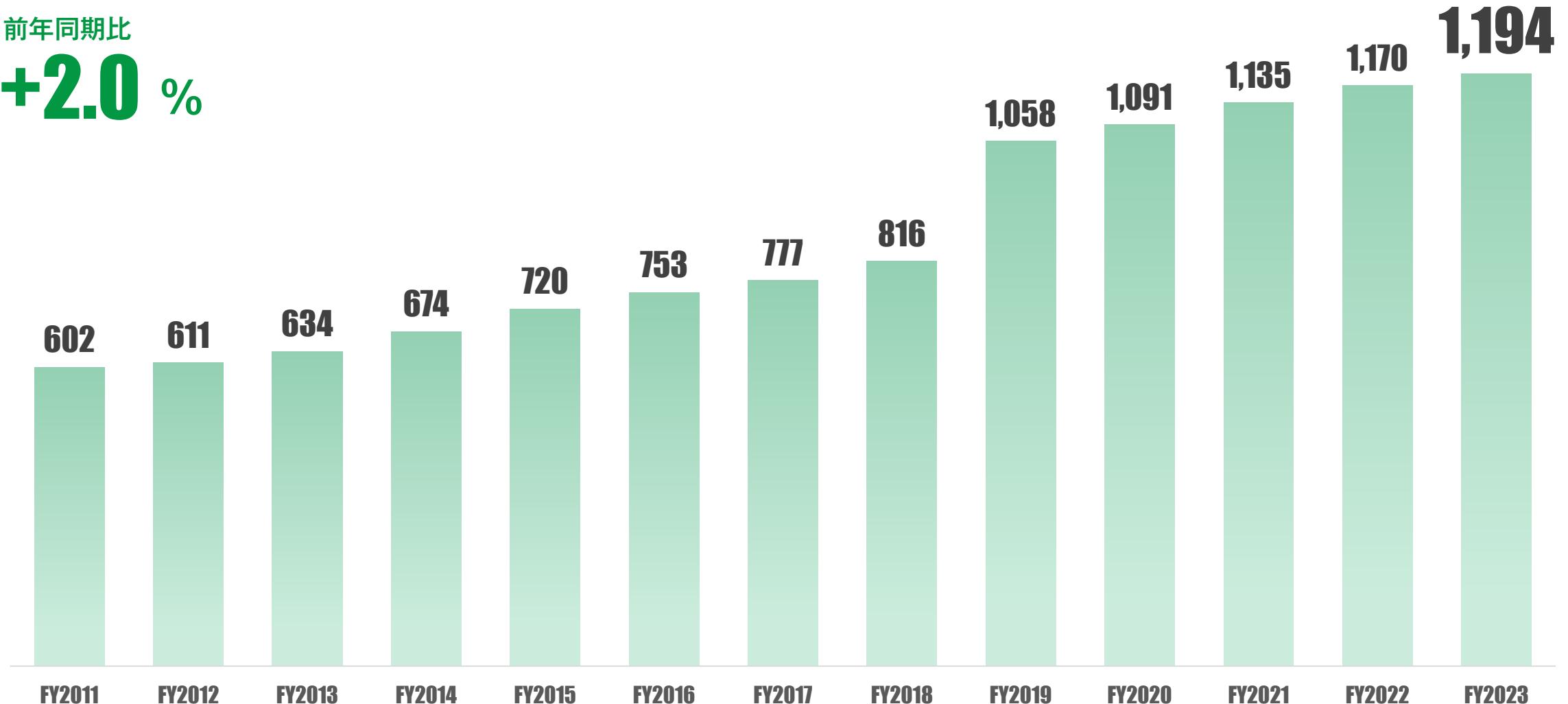
決算補足資料

第3四半期 売上高推移

単位：億円

前年同期比

+2.0 %



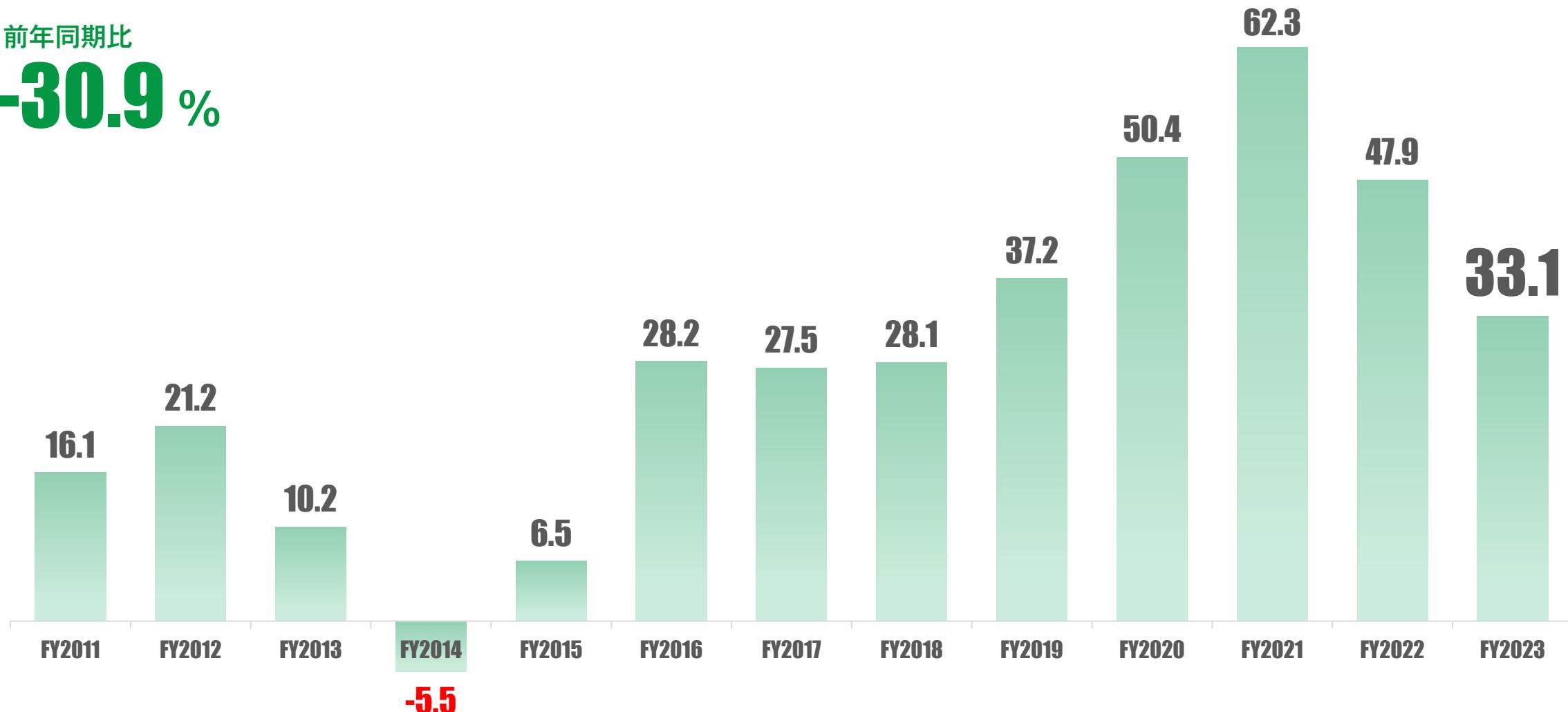
※単位未満は四捨五入です。

第3四半期 営業利益推移

単位：億円

前年同期比

-30.9 %



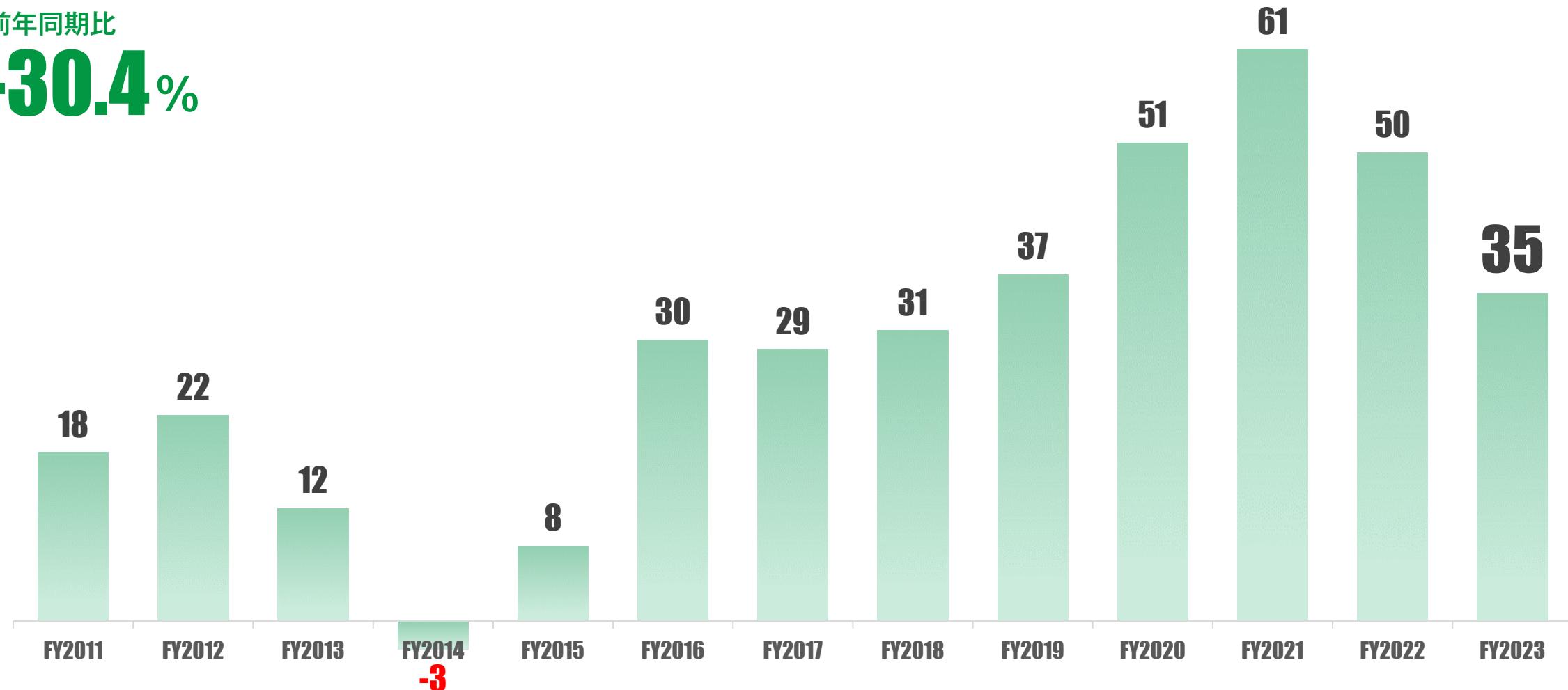
※単位未満は四捨五入です。

第3四半期 経常利益推移

単位：億円

前年同期比

-30.4%



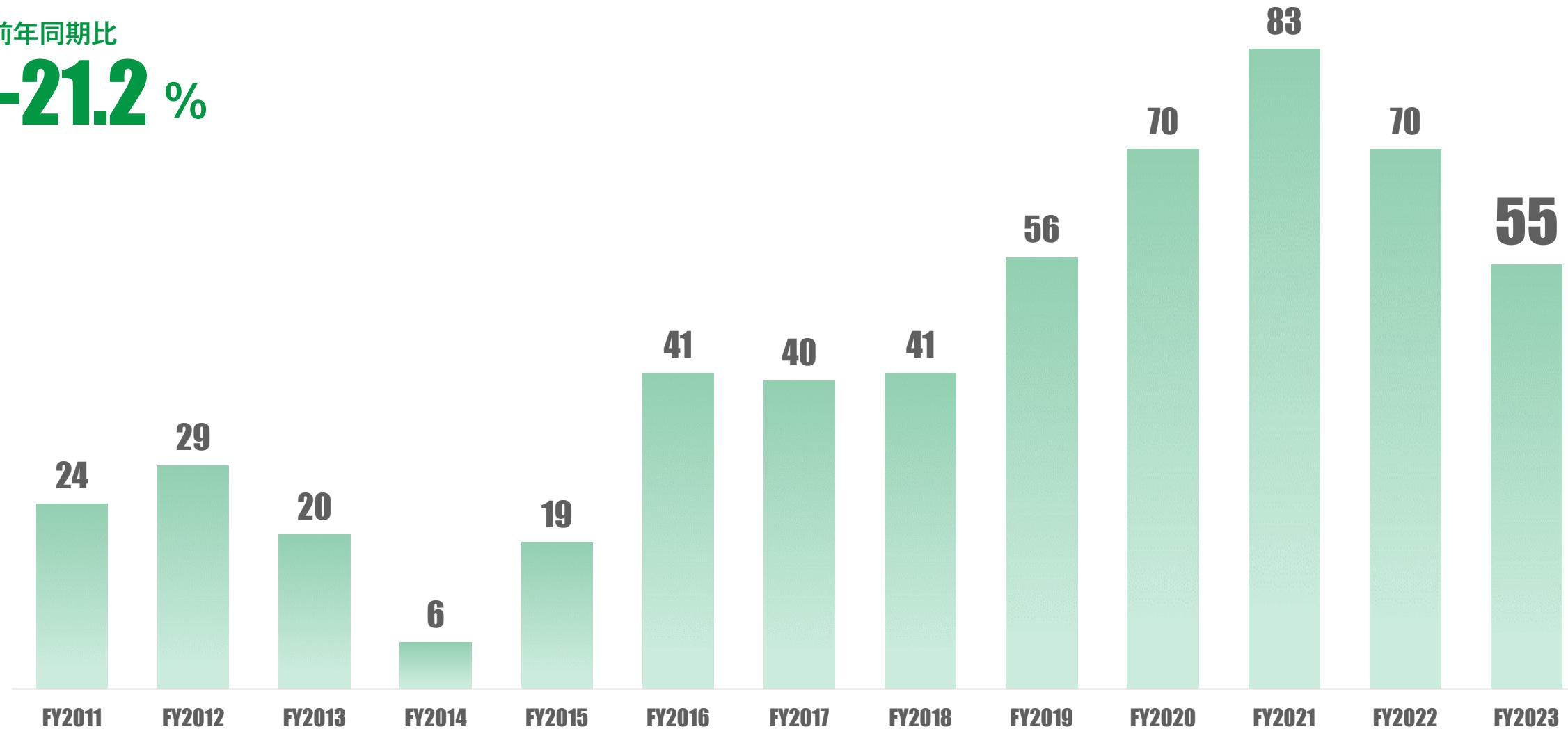
※単位未満は四捨五入です。

第3四半期 EBITDA^{*} 推移

単位：億円

前年同期比

-21.2 %



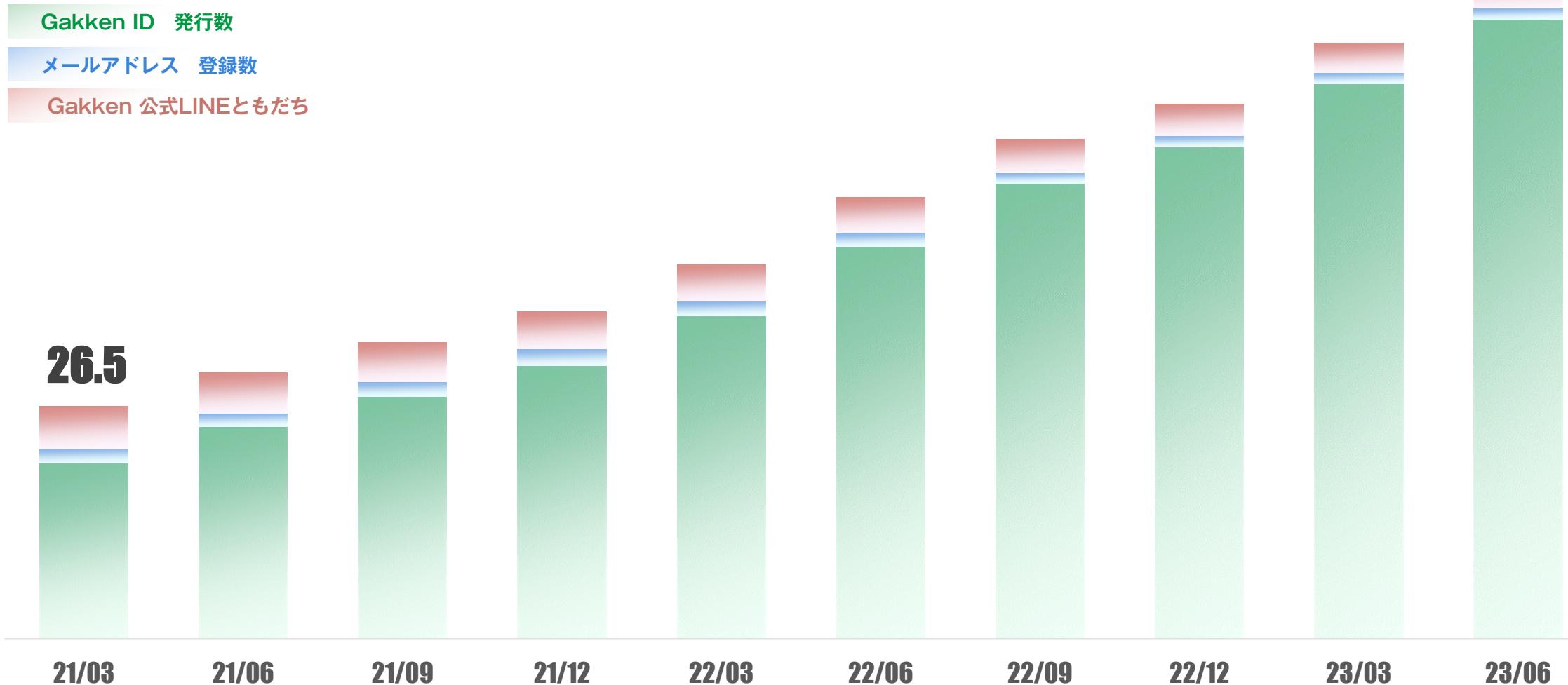
※営業利益・減価償却費・のれん償却費の合算です。

※単位未満は四捨五入です。

DX戦略 グループ・ダイレクト・タッチポイント

個別サービス毎のID取得は75万に到達。サービス間の連携を進め、顧客LTV向上を目指す

単位：万件



〒141-8510 東京都品川区西五反田 2-11-8

Gakken

**Gakken Group hopes that everyone has fulfilling lives.
To this end, we provide inspiration, satisfaction, safety for today,
and dreams and hopes for tomorrow.**